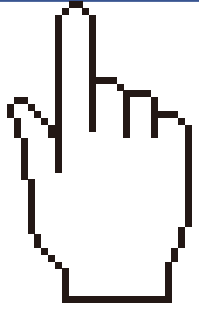


ネット選挙は

新たな「公共圏」を
生み出すか

—2013年参院選を振り返る

主催 明治大学情報コミュニケーション学部清原研究室
共催 情報通信学会情報社会システム研究会

日時

2013年10月11日(金)
18:30~20:10

会場

明治大学 駿河台キャンパス
リパティタワー
2階 1021 教室
[地図] <http://kiyoharaland.com/map>

参加費無料・要事前申込

参加申し込みは下記 URL からお願いします。
もしくは「清原研究室」で検索してください。<http://kiyoharaland.com/20131011>

清原研究室 検索

長年の議論の末、公職選挙法の一部改正により、日本でもようやくインターネットを使った選挙運動（ネット選挙）が解禁された。本シンポジウムでは、2013年参院選を振り返り、ネット選挙の実現は、インターネット上に政治的討論の場として新たな「公共圏」を生み出すのか、という点を検討する。

第1部では、これまで日米韓におけるネット選挙の比較研究を行ってきたチームが最新のネット選挙の研究状況について報告を行う。また、ゲストに朝日新聞の竹石記者を迎え、世論調査を踏まえて2013年参院選について報告していただく。

第2部では、研究チームのメンバーが日本初のネット選挙について評価し、今後の検討課題を提示する。

お問い合わせ先

明治大学情報コミュニケーション学部清原研究室
✉ kiyohara@kisc.meiji.ac.jp

お知らせ

本シンポジウム開催に先立ち、研究チームによるネット選挙の研究書が上梓されました。

清原聖子、前嶋和弘編著

『ネット選挙が変える政治と社会—日米韓に見る新たな「公共圏」の姿』

(慶應義塾大学出版会、2013年9月) <https://www.keio-up.co.jp/np/isbn/9784766420678/>

プログラム

第1部 趣旨説明 18:30~18:35

司会 ▶ 清原聖子

[明治大学情報コミュニケーション学部准教授]

パネリストによる報告 18:35~19:15

▶ 前嶋和弘

[文教大学人間科学部准教授]

▶ 李洪千

[慶應義塾大学総合政策学部専任講師]

▶ 清水憲人

[情報通信総合研究所グローバル研究グループ主任研究員]

▶ 竹石涼子

[朝日新聞記者(世論調査部)]

第2部 討論会 19:20~20:10

司会 ▶ 竹石涼子

▶ 清原聖子

▶ 前嶋和弘

▶ 李洪千

▶ 清水憲人

